

セキュアなクラウドストレージ を手軽に実現します。

Veeam Data Cloud Vault

ゼロトラストのデータ回復力の 基礎となるセキュアストレージ

サイバー脅威が増加し続ける中、その中でもバックアップデータを標的とするものが増えている状況で、バックアップデータに対する適切な保護の必要性はますます高まっています。実際に、『2024ランサムウェアトレンドレポート』では、ランサムウェア攻撃の96%が明確にバックアップを標的としていたことが明らかになっています。また、同レポートでは、61%の組織がディスクベースのバックアップに加えてクラウドストレージも利用しており、データのコピーをオフサイトに保存して、データの増大に対応していることも示されています。

一方で、多くの組織がクラウドストレージの課題に悩まされている状況が続いています。その理由は次のとおりです。

- ・ 予期せぬ高額請求：
トランザクション、データアクセス、送信など、クラウドストレージに関連するすべての費用を完全に把握して予測できます。
- ・ セキュリティ：
論理的なエアギャップ、イミュタビリティ(不変性)、暗号化などを組み込んで、クラウドストレージを安全に設計します。
- ・ スキリング：
適切な設計、導入、管理、監視を行うために必要な専門知識や人材に関連します。

Veeam Data Cloud Vault

Veeam Data Cloud Vaultにより、Microsoft Azure上にフルマネージド型のセキュアなクラウドストレージリソースが導入されます。厳格なZTDRの原則に基づいて設計されたVeeam Vaultにより、貴社ビジネスの最も価値ある資産があらゆる状況下で常に保護されます。

さらに、予測不可能なクラウドのコストモデルに関わる問題が解消されて、予算編成とコスト予測が容易になります。必要な容量を指定するだけで、後はすべての管理を任せることができます。

ゼロトラストのデータ回復力

Veeamのゼロトラストのアプローチである「ゼロトラストのデータ回復力(ZTDR)」は、ゼロトラストの原則を組織のバックアップ環境にまで拡大することに重点を置いています。この理念は、データ保護および組織のサイバー回復力戦略に対する弊社のアプローチの基礎となっています。これには次が含まれます。

- ・ セクメンテーションとエアギャップによってバックアップソフトウェアおよびバックアップストレージを分離することで、認証済みのユーザーに向けてアベイラビリティを確保すると同時に、環境の一部が侵害された際の機密性と整合性に対するリスクを軽減できます。
- ・ 複数の回復力ゾーン：
データの3つのコピーを2種類のメディアに保存し、1つはオフサイトに保持することで、迅速かつ安全に復元できます。
- ・ 暗号化されたイミュタブルなバックアップストレージ：
イミュタビリティ(不変性)によってデータの整合性を保証し、クリーンなリストアのためのデータのアベイラビリティを確保して、暗号化によって機密性を守ります。

ユースケース

セキュア

常に暗号化され、本番環境から論理的かつ物理的に隔離された、イミュータブルなZTDRストレージでデータを保護します。

簡単

アーキテクチャや設定、管理の要件が一切必要なく、Veeamによって完全に管理されるオンデマンドのクラウドストレージにアクセスして活用できます。

予測可能

現在、そして将来のニーズに対応できるTB単位の定額料金（API呼び出し、データアクセス、リストア、送信の料金を含む）であるため、突然の高額請求に驚かされることはありません。

統合化

Veeam Data Platformに完全に統合されており、使い慣れたUIを通じてほんの数分ですぐに利用できます。

2つのオプションからお選びいただけます

	Foundation	Advanced
ストレージクラス	Azure Blobフル	Azure Blobフル
耐久性	LRS : 「11個の9」(99.999999999%)の耐久性	ZRS : 「12個の9」(99.999999999%)の耐久性
読み取り/リストア	購入容量の 20%まで	無制限
ZTDRストレージ	あり	あり
保存先の選択	国を指定 東日本/西日本 両リージョン対応	リージョンを指定 東日本/西日本 両リージョン対応
不変性	☐ ※デフォルト	☐ ※デフォルト
暗号化	☐ ※デフォルト	☐ ※デフォルト
最小保持期間	30日間	30日間